

<様式4>

山梨畜産試験場試験・研究課題中間評価表

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名

大課題名：未利用資源の利用技術

小課題名：未利用素材の鶏飼料化技術の開発

細目課題名：

担当者名：松下浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究の進捗度	5 / 5	過去3カ年は成果も出ており進捗度は高い。
2 研究内容の妥当性	5 / 5	未利用資源を家畜の飼料として有効に利用する内容であり妥当である。
3 研究成果の期待度	4 / 5	研究成果の期待度、活用面から未利用資源のコストについても考慮したほうがよい。
4 研究継続の必要性	5 / 5	他の食品残さ等の未利用資源についても研究をし、利用できる成果として欲しい。
総合評価	5 / 5	過去3カ年の成果を踏まえ、今後2年間は、他の食品残さを含めた複合的な資源利用の研究とともに、生産者が活用できる技術としてまとめて欲しい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

引き続き委員会ご指摘の他の未利用資源についても検討をいたしてまいります。

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：鶏の飼養管理技術の改善

小課題名：水禽衛生プログラムの検討

細目課題名：

担当者名：小川陽介

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	3 / 5	ワクチン効果の検証であり、農家で利用できるような衛生プログラムまでには到達していない。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	3 / 5	衛生プログラムとして不足な面がある。普及性を高めるには行政指導も必要。
3 研究の発展性	3 / 5	ワクチン効果が必ずしも高くないのでさらなる検討が望まれる。
4 研究課題選定の妥当性	4 / 5	アイガモ農法が野鳥との接触も多い点から課題の選定は概ね妥当。
総合評価	3 / 5	野鳥からの病原菌の伝染が注目されており研究として重要であるが、本課題では衛生プログラムとするにはさらなる検討が必要。野外飼育方法についても今後さらなる検討が望まれる。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

アイガモ農法のさらなる振興を目指し、関係機関と連携を深めワクチン効果の高まる投与方法について検討したい。

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：家畜ふん尿の有効利用と環境保全対策技術の開発

小課題名：実用規模における家畜ふん尿等有機性物質を用いたメタン発酵等に関する研究

細目課題名：

担当者名：赤尾友雪

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	メタン発酵の性能調査は把握されたが、実用化に向けた整理が必要である。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	2 / 5	施設費が高いため戸別農家への普及は望めないが、企業による低コスト化の検討が今後必要である。
3 研究の発展性	4 / 5	コストの低減化の検討が必要。消化液の処理方法について利用面を含め検討する必要がある。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	畜ふん、生ゴミ等の産業廃棄物の有効利用の観点から課題の選定は妥当。
総合評価	4 / 5	現段階では、戸別農家への普及は期待できないが、この技術を今後活用するためには、他業種との複合的なつながりを含め、行政のコーディネートが必要である。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

産業廃棄物の有効活用事例として成果を広く普及し、畜産環境保全に務めたい。